

サイバー攻撃対策通信

令和8年3月12日
令和7年度第9号
栃木県警察本部
警備部警備第一課
(サイバー対策センター)

生成AIの台頭 ～サイバー攻撃の高度化・巧妙化～

IPA「情報セキュリティ10大脅威2026」より抜粋

順位	「組織」向け脅威
1位	ランサムウェアによる被害
2位	サプライチェーンや委託先を狙った攻撃
3位	AIの利用をめぐるサイバーリスク
4位	システムの脆弱性を悪用した攻撃
5位	機密情報を狙った標的型攻撃
⋮	

初選出

生成AIの急速な進化により、暮らしを便利にする一方で、
・「サイバー攻撃」
・「偽情報の拡散」
に悪用される等、脅威が高まっています。



栃木県警察CS
イメージキャラクター
雷坊

出典：IPA「情報セキュリティ10大脅威2026」



生成AIをサイバー攻撃に悪用されると…

標的型攻撃の高度化
(メール・電話等)

人間が文書や音声で見抜くのが困難に！

ぜい弱性等の
偵察の自動化

攻撃の下調べが広範囲
かつ一気に行われる！

偽情報の拡散

本物そっくりの仕上がり
で嘘が広がる！

**職員のリテラシー向上やサイバー攻撃に対する
備えがより重要になっています！**



セキュリティ強化のための方策



職員のリテラシー向上

- ・セキュリティ教養
- ・インシデント対応訓練 等



ぜい弱性の管理

- ・ネットワーク
セキュリティ診断
- ・アカウント管理 等



SNSの管理

- ・パスワード管理
- ・投稿ルールの策定 等

■ 警察ではセキュリティセミナーを行っています。どうぞ遠慮なくお問い合わせください。